



2009-11-12

第6回ARGカフェ@横浜
ライトニングトーク

目は口ほどにものを言う？ Web情報探索行動における 視線情報の分析

江草 由佳

国立教育政策研究所
教育研究情報センター
研究員

国立教育政策所 教育研究情報センター
教育図書館

N I E R

Library



Web情報探索行動の研究

- 人は検索するさいにどんな行動をとるのか？
- 何を考えながら検索しているのか？
- 主題知識やネットリテラシーと検索のうまさはどういう関係にあるか？
-
- CRESプロジェクト
 - 利用者に実際に検索を行ってもらい、そのさいの操作記録、操作画面の映像、アンケート、インタビューなどを分析する研究を行っている
- 「眼球運動」(視線情報)も記録して分析を行っています

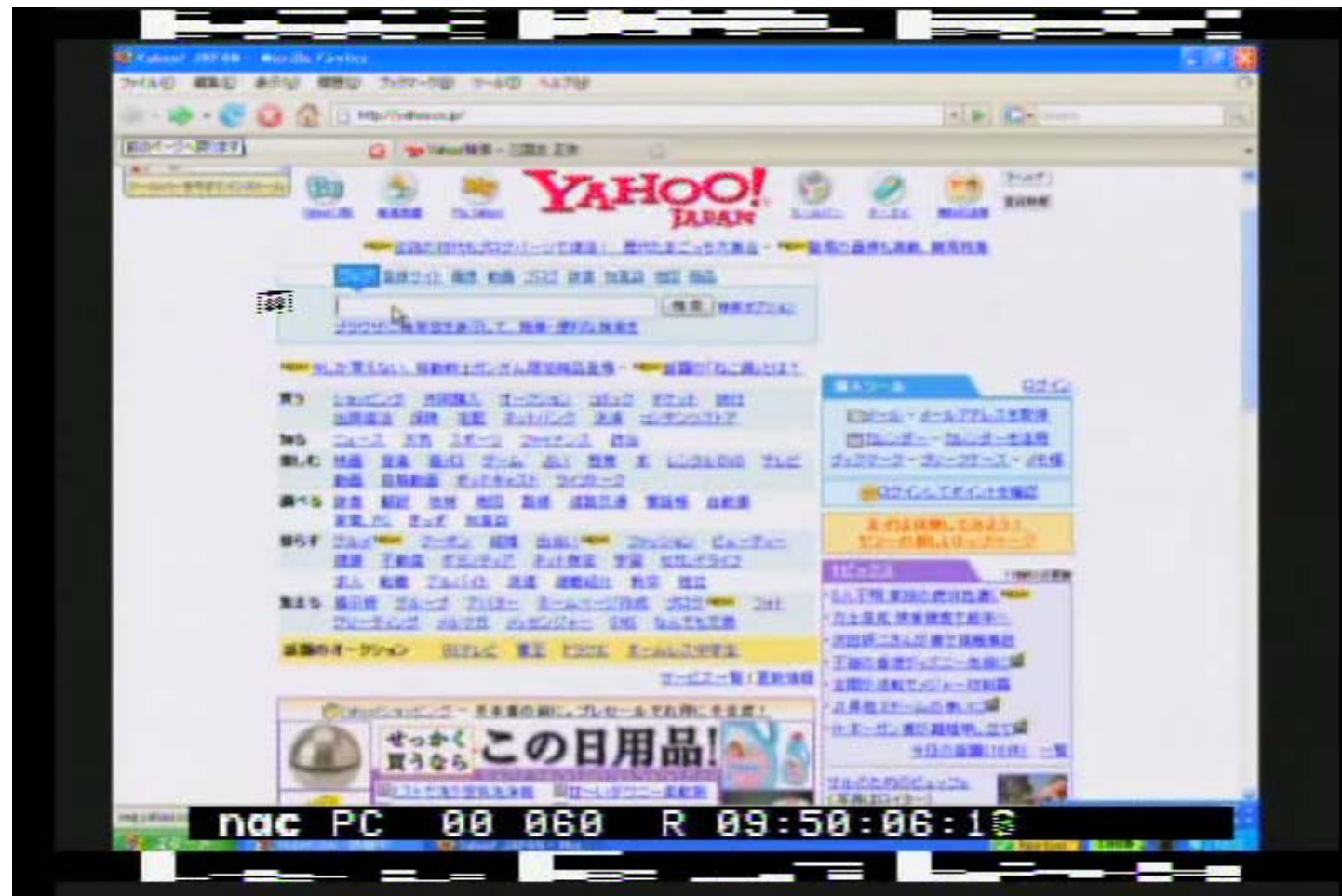
こんな感じで測定しました



最近、新しい機械(Tobii)で、
簡単に記録できるようになりました！



眼球運動と操作画面映像の例



視線情報の分析方法

見た場所をブロック(Lookzone)に分けて人手でカウント



それで、眼球運動を記録することで 何がわかったの？

- 情報要求によって見る場所がちがう
 - スポンサーリンクをよくみている/みていない
 - スニペットをよく見ている/みていない
 - 詳しくはリーフレット、<http://cres.jpn.org/>へどうぞ
- 多くは他の記録（操作ログ、操作映像）でわかることと同じなんだよね・・・
- 高価な測定装置、大変な分析をしてまで眼球運動を使う必要あるの・・・という疑問はある
- だけど、世界的にも、まだまだ分析は試行錯誤の状況です！→もう少し今後も続ける予定

募集！

- 眼球運動測定装置を使って、情報探索行動のこんなところをとるとおもしろい
- こんな行動はどうか？
- こんな分析はどうか？
- 実験参加者になってみたい人も募集しています！